



平成 28 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社リンクアンドモチベーション

代表者名 代表取締役会長 小笹 芳央

(コード：2170 東証第 1 部)

問合せ先 取締役 グループデザイン本部担当 大野俊一

(TEL. 03-3538-8558)



## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第 24 条の 4 の 4 第 1 項に基づき、関東財務局に提出いたしました平成 27 年 12 月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

当社グループは、当社の会計監査人との平成 27 年 12 月期決算監査に関する協議の過程で、決算・財務報告プロセスにおける以下の点が判明いたしました。

- ① 当社は、決算・財務報告プロセスに係る時価のない投資有価証券の評価において、必要となる情報に基づき適切な評価作業を行い、その作業の結果を適切な者が承認することとしております。しかしながら、重要な投資先の一部に直近の決算書類に基づく評価が行われていませんでした。また、株式の実質価額が著しく低下している投資先について、回復可能性が十分な証拠によって裏付けられていませんでした。なお、これらの指摘を受け、十分な情報に基づく批判的検証を行い、その結果に基づき、連結財務諸表及び財務諸表を作成しております。
- ② 当社グループは、必要な決算処理手続が漏れなく正しく行われるように、決算処理手続文書を整備し、担当職員に対して周知しております。しかしながら、これらの徹底に至らず、貸倒懸念債権の評価等一部の決算処理手続が十分かつ適時に行われませんでした。なお、指摘された事項については、必要な決算処理手続を実施し、その結果に基づき、連結財務諸表及び財務諸表を作成しております。

#### 2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記の事項は事業年度末日後に認識いたしましたため、当該不備を当事業年度末日までには是正することができませんでした。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社グループは、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、財務報告に係る内部統制上の重要な不備の是正を図るため、以下の内部統制の運用強化に着手しております。

- ① 時価のない投資有価証券の評価体制の強化

投資先における直近の決算書類の管理に対するモニタリングを強化するとともに、評価結果については然るべき会議体においても議論し、批判的検証を行えるようにいたします。

② 決算処理手続文書の運用体制の強化

決算処理手続文書の更新を四半期ごとに行い、決算処理手続文書の精緻化を図るとともに、担当職員への周知徹底を行い、新たな取引に係る会計処理等についても適時に対応できるようにいたします。

4. 連結財務諸表等を与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する財務報告上の影響額は、決算過程で適正に修正しており、連結財務諸表及び財務諸表に及ぼす影響はありません。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上